

大洲

大洲が大好きです
おなじ道の上



「大洲市民の歌」発表

2015
No.122

がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

新谷中学校3年（現：大洲高等学校1年）

石山 ひなの さん



高校生になってもうすぐ1年が経ちます。中学生のころと比べて勉強量が格段に増えましたが、大変だと思う時は、家で好きな音楽を聴いて気分転換します。所属するテニス部は非常に楽しく、友達も増えて充実した毎日を送っています。

私は四人兄妹きょうだいの長女で、休日には弟や妹と遊ぶのが楽しみです。末っ子の3歳の妹たちを連れて、近くの公園で遊んだり、家ではボードゲームをしたりして盛り上がります。

私の将来の目標で、ひとつだけ決めていることがあります。それは、いつも優しく、時に厳しい、私の母のようなお母さんになることです。家族と友達を大事にしなから、具体的な夢や進路は、今後の高校生活でしっかり考えていきたいと思えます。

3月の納税など

納期限は3月31日(火)です。

| 税 別 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|-----------|----|----|----|----|
| 市 県 民 税 | | | | 1期 |
| 固 定 資 産 税 | | 1期 | | |
| 軽 自 動 車 税 | | | 全期 | |
| 国民健康保険税 | 9期 | | | |

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を！

現在の太洲

| 人の動き(先月比) | | 交通事故(昨年同期) | |
|-----------|---------------|------------|----------|
| 人口 | 46,263人 (-48) | 件数 | 21件(13件) |
| 男 | 22,020人 (-26) | 死者 | 0人(0人) |
| 女 | 24,243人 (-22) | 負傷者 | 28人(13人) |
| 世帯数 | 20,274世帯(-2) | | |

(2015年1月末現在)

CONTENTS 目次

| | |
|--------|----------------------|
| 2ページ | がんばる太洲っ子・今月の表紙 |
| 3ページ | 中村修二さんに名誉市民称号贈呈 |
| 4ページ～ | 新市誕生10年を記念して |
| 6ページ～ | 大人としての新たな一歩 |
| 8ページ～ | 地域から全国へ、さらに世界を目指して |
| 10ページ～ | おおずニュース |
| 12ページ～ | シリーズ |
| 15ページ | まちのわだい |
| 16ページ～ | おしらせ |
| 25ページ～ | 図書館・保健センター・心と体の健康ガイド |
| 28ページ | がんばるひと (やぐら会) |

今月の表紙

picture 写真



1月11日(日)、太洲市民会館で「太洲市民の歌」発表ミニコンサートがありました。

歌手のかとうれい子さんと太洲ふじかけコーラス、太洲少年少女合唱団のみなさんによる、「100年後僕らは…太洲より」の熱唱に、会場からは大きな拍手が送られました。

中村修二さんに名誉市民称号贈呈



昨年12月にノーベル物理学賞を受賞された、カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授の中村修二さんに、2月3日(火)、大洲市民会館で大洲市名誉市民称号が贈られました。

名誉市民の称号は、社会・文化または産業の進展に貢献し、その功績のあった人に贈られるもので、合併後7年ぶり2人目の贈呈になります。

贈呈式では、清水市長が「先生のノーベル物理学賞の受賞は、私たち大洲市民にとって大きな喜びであり、誇りである。この後予定されている講演会が、高校生の今後の進路など何かのきっかけになればいいと思う」とあいさつしました。

名誉市民となった中村さんは「ふるさと大洲で名誉市民の称号を頂き、大変うれしく思う。大洲は大好きな場所なので、今後ともみなさんと協力して何かができればいいと思う」と謝辞を述べられました。

その後、市内の高校生など約750人が参加し、「青色LEDの開発から、ノーベル賞受賞まで」と題した記念講演が行われました。

なお、記念講演については、広報大洲4月号で要旨を掲載します。

新市誕生10年を記念して

～大洲市合併10周年記念式典～



1月11日(日)、大洲市民会館において大洲市合併10周年記念式典が開催されました。

式典では、清水市長が「10年前の今日、大洲市・長浜町・肱川町・河辺村の1市2町1村が合併し、新しい大洲市がスタートした。この10年を振り返ると、前半は、行財政改革を中心とした5年間、後半は、地域活性化と安全・安心のまちづくりを中心とした5年間だった。これからも市民のみなさんと力を合わせて、元気で活力あるまちづくりに取り組みたい」と式辞を述べました。

続いて、市の発展に多大な貢献をされた人たちの功績をたたえ、402人と1団体に表彰状が贈られました。代表して大洲商工会議所井関和彦(わづみ)会頭から「市の発展に微力ながら貢献できたことをうれしく感じる。決意を新たに、なお一層の精進を重ね、それぞれの立場で引き続きまちづくりに尽力したい」と感謝の言葉と抱負を語られました。

その後、シンボルマーク・ロゴタイプ・大洲市民の歌「歌詞」の最優秀作品発表が行われ、制作者に賞状と副賞が贈られました。また、大洲市民の歌の補作詞・作曲をされた、たきのえいじさんと歌手のかとうれい子さんに、大洲市きらめき大使の委嘱が行なわれました。

現在、作詞・作曲家として活躍中で、今回、市民の歌を手掛けられた、大洲市出身のたきのえいじさんにお話を伺いました。

市民の歌の曲づくりに当たってのイメージや思いを教えてください

今回いただいた濱田さんの詞がとてもすばらしく、ファンタジーの世界からポップスの世界まで、すぐにいろいろなメロディーが浮かびました。言葉を見つめていると、子どもたちが駆けている光景が浮かびました。その時に「そうだ、子どもたちがハーモニカやリコーダーで吹けるメロディーにしよう」と思いました。それと同時に

に、台所でお母さんたちが口ずさみ、大洲の町を初めて訪れた人たちが耳にした時すぐに口ずさめる歌にもしようとメロディーを整えていきました。

そして、詞にも描かれているように、脇川の流れや風のそよぎのように、爽やかで明るいメロディーに仕上がりました。

大洲の人はもちろんのこと、全国の人たちに覚えて歌っていただければ幸いです。

大洲市の思い出を教えてください

末広町で生まれ、18歳まで大洲で暮らしました。不思議なことに、遠くで暮らし歳を重ねるごとに、大洲が近くなります。そして、子どものころに遊んだ路地や学校が頭の中で再現され、当時のままの自分が走り回っているのです。年齢も町の時間も止まったまま、まるで映画でも見ているかのよう

に。
末広町、中町、本町、三の丸^(註)。歩いた足の感触がよみがえり、大洲がいとおしく思われます。この町から、私の人生は始まりました。この町で刻んだ小さな一歩が、こうして65歳を迎えた今につながっています。みんなが優しくしてくれました。友達も先生も、知らないおじさんやおばさんも、みんなみんな温かくて優しくかった。もう一度生まれるならば、大洲に生まれることを願っています。

大洲市民のみなさんへメッセージをお願いします

身近にしていると気付かないことがたくさんあります。まして、そこで暮らしていると、町の景色はず

っと昔からそこにあり、いちいち驚いたりしません。しかし、一歩離れて町を見直してみると、大洲の歴史の厚みや大洲の人の優しさ、たくましさなど、いろいろなことに気付きます。

今回の帰郷で、久しぶりに歩いた大洲の町が、その事を私に教えてくれました。

町とは、まさに人がつくるのだと改めて思いました。大洲に生きるみなさんの心や思いが、今の大洲をつくっているのです。それは、優しさや思いやりの態度、大洲の言葉遣いに表れ、訪れる人たちへのおもてなしとなっているのです。

そんな思いをいっぱい込めて、大洲市合併10周年を記念した市民の歌を作ることができました。

この町を誇りに、大洲の心を誇りに…。

インタビュー中、たきのさんは時々目を閉じて、昔を懐かしむように話をされました。

今回、たきのえいじさんが補作詞・作曲をされた大洲市民の歌「100年後僕らは…大洲より」は、かとうれい子さんの「ありふれた一日」に収録され、CDショップやインターネットで販売されています。

(注)大洲城付近から臥龍山荘付近までの地域



大人としての新たな一歩

平成26年度大洲市成人式



平成26年度大洲市成人式が1月12日(月)、大洲市民会館で行われ、晴れ着やスーツに身を包んだ新成人425人が参加しました。

会場内には大洲市民の歌が流れ、集まった新成人のみなさんは、開式前に記念写真撮影や、タイムカプセルの開封など、旧友との再会を懐かしんでいました。

式典に先立ち行われたアトラクションでは、長浜中学校吹奏楽部による迫力ある演奏が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

長谷拓実さんと山崎光輝さんの司会で進められた式典では、清水市長が「世界ではさまざまな事が起こっている。これからは、どうすれば住みよい世の中になるか、自分たちで考えて行動してほしい。そして、100年後も元気な

大洲市であるために、ゆくゆくは大洲の地で暮らしてほしい」とのことは贈りました。

新成人を代表して山内亮輔さんが「今まで支えてくれた家族に、改めて心から感謝をしている。これからは、成人としての自覚を持ち、自らの力でさまざまな壁を乗り越え、大きな目標に向かい、自分を磨いていきたい」と感謝とともに決意を述べました。



人生の節目に ～親の思い、子の決意～



水口 ^{ともこ} 智子さん・^{まどか} 円香さん親子（菅田町宇津）

智子さん「あっという間の20年で、何とかここまできた、と少しほっとしています。これからは独り立ちし、周りに迷惑をかけず、理想の女性になれるよう頑張るね。」

円香さん「親にこれまで育ててもらった恩は、しっかり返していきます。父のように、人のことを一番に考えて行動できる大人になりたいです。」

中岡 ^{みわ} 美和さん・^{さえ} 彩恵さん親子（新谷町）

美和さん「小児ぜんそくで入院したこともあり、健康面で心配していましたが、無事にこの日を迎えられるで良かったです。思いやりの心を持った社会人になってください。」

彩恵さん「医療機関で受付をしているので、不安を抱えて来院される患者さんの気持ちを、少しでも和らげる対応をしたいです。大人として自覚ある行動をしようと思っています。」



二宮 ^{そのか} 苑花さん（河辺町植松）

「育ててもらった家族に感謝し、世界のためになるように生きたい」



別宮 ^{りん} 凜さん（白滝）

「看護師になって手術室で勤務する夢を叶え、親孝行できる人になりたい」



田中 ^{こうき} 滉己さん（森山）

「一人前の調理師になって、大洲に帰ってきて自分の店を持ちたい」



山内 ^{りょうすけ} 亮輔さん（脇川町山鳥坂）

「大学院へ進んで情報系の仕事に就き、自分の力で生き抜けるようになりたい」

二十歳の未来



新成人のみなさんが生まれた平成6年度の主な出来事

大洲地域

▽市制40周年記念式典開催

長浜地域

▽長浜町ふれあい会館完成

脇川地域

▽第1回脇川国際風フェスティバル開催

河辺地域

▽地域活性化センター、民俗資料館オープン

二ユース

▽日本人初の女性宇宙飛行士向井千秋さんに乗せたスペースシャトル打ち上げ

イチロー

▽イチローが史上初の1シーズン200本安打を記録

大江健三郎

▽大江健三郎さんノーベル文学賞受賞

阪神・淡路大震災

▽阪神・淡路大震災が発生

流行語

▽同情するならカネをくれ

イチロー（効果）

▽すったもんだがありました

ヒット曲

▽innocent world

恋しさとせつなさと心強さと

▽空と君のあいだに

さらに世界を目指して

大洲市きらめき大賞表彰

1月10日(土)、平成26年度大洲市きらめき大賞表彰式が行われ、1個人と市内2高等学校が受賞されました。大洲市きらめき大賞は、本市の文化の向上発展に関し、特に顕著な業績または成績を収めた個人、団体に贈られる賞です。表彰式では、清水市長が「みなさんは、文化・スポーツ・科学の分野で素晴らしい成績を収められた。これからも、さらなる活躍とさらなる発展を願う」と述べました。

受賞者を代表して辻喜千治きちはるさんは「新しい大洲市発足から10年という記念すべき年に、素晴らしい栄誉に恵まれたことはこのうえなく光栄である。この賞の名に恥じないように、これからも研さんを重ねていきたい」と、受賞の喜びと今後の抱負を話されました。



祝 大洲市きらめき大賞表彰式



辻 喜千治きちはるさん (大洲市大洲)

第21回アジアシニアソフトテニス選手権大会
 国別団体戦 男子の部 優勝
 年代別個人戦 男子の部 75歳以上 準優勝
 (きらめき大賞特別賞も同時受賞)

大洲農業高等学校 バイテク班

▽第65回日本学校農業クラブ全国大会

プロジェクト発表 環境の部 優秀賞

このたびは、大洲市きらめき大賞を頂き、誠にありがとうございます。

平成19年度から始まったこの研究活動では、肱川に侵入した特定外来生物オオフサモの除去方法の確立と実践に取り組みました。長年の研究成果が認められ、大変うれしく思います。

私たちは、これからも清流肱川を未来へつなぐために環境保全活動の実践に努めていきたいと思っています。



長浜高等学校 水族館部

▽第58回日本学生科学賞全国大会高校の部 内閣総理大臣賞

今回の研究を通して私たちが最もうれしかったのは、新しい発見ができたことです。謎を解明していくと、また新しい謎が生まれました。次は、その謎を解明していきます。

また、今年5月にアメリカで行われる世界大会出場も決まりました。大会では、各国代表の高校生研究者たちが集い、英語のプレゼンテーションで競い合います。私たちの研究はまだまだ始まったばかりです。あと2年間、全力投球で研究に励んでいきます。



地域から全国へ、



大洲市地域づくり表彰

大洲市地域づくり表彰が1月10日(土)、市役所で開催され4個人9団体が表彰されました。

この表彰は、市内において豊かで住みよい地域づくりなどに取り組み、貢献のあった個人または団体に贈られています。

あいさつで清水市長は「地域には素晴らしい文化や歴史がある。今回受賞されたみなさんは、それらを伝承するために頑張っている。今後、みなさんの活動が、市全体に広がっていくことを願っている」と述べました。

受賞者を代表して尾上清則きよのりさんは「今回、受賞の栄に浴し感謝に

堪えない。これからも、市内で実施されているまちづくり活動に、微力ながら寄与したいと思う」と、受賞の喜びと今後の抱負を話されました。

今後大洲市では、今回表彰された個人、団体の活動内容などを広報で紹介します。



- ▽尾上 きよのり 清則 (肱南)
- ▽井上 みつこ 光子 (南久米)
- ▽西尾 よしつぐ 義繼 (田口)
- ▽藤田 さだお 貞雄 (五郎)
- ▽いづま川に親しむ会 (上須戒)
- ▽上須戒相撲甚句保存会(上須戒)
- ▽今坊獅子舞保存会 (今坊)
- ▽正山風の会 (正山)
- ▽新谷商工会 (新谷)
- ▽豊友会 (豊茂)
- ▽南久米歴史文化研究会(南久米)
- ▽みよし体験塾 (三善)
- ▽遊鼓太鼓 (正山)

(敬称略)